

中間連結財務諸表(要旨)

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	前中間連結会計期間末 (2006年6月30日)	当中間連結会計期間末 (2007年6月30日)
	金 額	金 額
(資産の部)		
流動資産	117,608	144,005
現金及び預金	20,067	32,165
受取手形及び売掛金	69,664	80,907
たな卸資産	15,994	17,631
その他	11,881	13,301
固定資産	76,111	71,654
有形固定資産	53,264	50,925
無形固定資産	4,903	4,766
投資その他の資産	17,943	15,961
資産合計	193,719	215,660

(単位:百万円)

期 別 科 目	前中間連結会計期間末 (2006年6月30日)	当中間連結会計期間末 (2007年6月30日)
	金 額	金 額
(負債の部)		
流動負債	111,654	124,533
支払手形及び買掛金	69,922	81,030
短期借入金	9,122	7,897
その他	32,609	35,605
固定負債	13,767	10,808
長期借入金	3,817	2,660
退職給付引当金	9,024	7,227
その他	924	920
負債合計	125,421	135,342
(純資産の部)		
株主資本	80,687	93,111
資本金	10,374	10,374
資本剰余金	16,254	16,254
利益剰余金	54,173	66,601
自己株式	115	119
評価・換算差額等	13,762	13,994
その他有価証券評価差額金	1,897	1,599
繰延ヘッジ損益	3	
土地再評価差額金	15,572	15,574
為替換算調整勘定	84	19
新株予約権		1
少数株主持分	1,372	1,199
純資産合計	68,297	80,317
負債純資産合計	193,719	215,660

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
	自2006年1月1日 至2006年6月30日)	自2007年1月1日 至2007年6月30日)
科 目	金 額	金 額
売上高	226,240	246,424
売上原価	171,981	188,253
売上総利益	54,259	58,170
販売費及び一般管理費	38,017	39,833
営業利益	16,242	18,336
営業外収益	275	330
営業外費用	83	78
経常利益	16,434	18,588
特別利益	41	98
特別損失	260	517
税金等調整前中間純利益	16,215	18,169
法人税、住民税及び事業税	5,989	7,518
法人税等調整額	575	458
少数株主利益	49	123
中間純利益	9,602	10,068

流動資産が増加

好調な業績を背景に、流動資産が前年同期末比263億97百万円増加し、1,440億5百万円となりました。固定資産は44億56百万円減少し、716億54百万円となりました。

自己資本比率が向上

自己資本比率が36.7%となり、前年同期末比2.2ポイント向上しました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

期 別	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
	自2006年1月1日 至2006年6月30日)	自2007年1月1日 至2007年6月30日)
科 目	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,172	20,501
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,951	2,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,154	3,759
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	28
現金及び現金同等物の増加額	6,060	14,567
現金及び現金同等物の期首残高	13,891	18,305
現金及び現金同等物の中間期末残高	19,951	32,872

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の増加や仕入債務の増加などにより、205億1百万円となり、前年同期に比べて83億28百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出が減少したことなどにより、22億3百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額の増加などにより、37億59百万円となりました。

売上高が増加

情報セキュリティ関連ビジネスやカラー複写機が順調に推移し、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」が大きく伸びました。

販管費比率が改善

売上高の増加に対する販売費及び一般管理費の伸びをコントロールし、販管費比率が前年同期の16.8%から16.2%へ0.6ポイント改善しました。

中間純利益が増加

中間期として、初めて100億円を超えました。